



各大学の取り組み発表

⑦ 中部大学



中部大学ESDエコマネーチームが目指す エシカル消費



発表内容

- ①中部大学ESDエコマネーチームとは
 - ・中部大学ESDエコマネーチームの目標
- ②学生主体の標準化教育
 - ・標準化教材開発
 - ・企業や団体、教育機関との連携事業
- ③標準のたねさがし(NACCS中部、名古屋市との連携授業)
- ④現状の課題、今後の方向性

①中部大学ESDエコマネーチームとは

標準化
(ルール)

社会課題
解決

人材育成

SDGsや標準化に関心のある学生が所属

所属メンバー 76名



- 持続可能な開発を担う
→環境・社会・経済のサステナビリティの重要性を理解
- 社会課題解決×標準を使う人から作る人になる！
→学生主体の標準化教育を推進しながらESD活動を実践
- 「未来を創る人づくり」
→産学官民連携での標準化教育実践

中部大学ESDエコマネージャーチームの目標

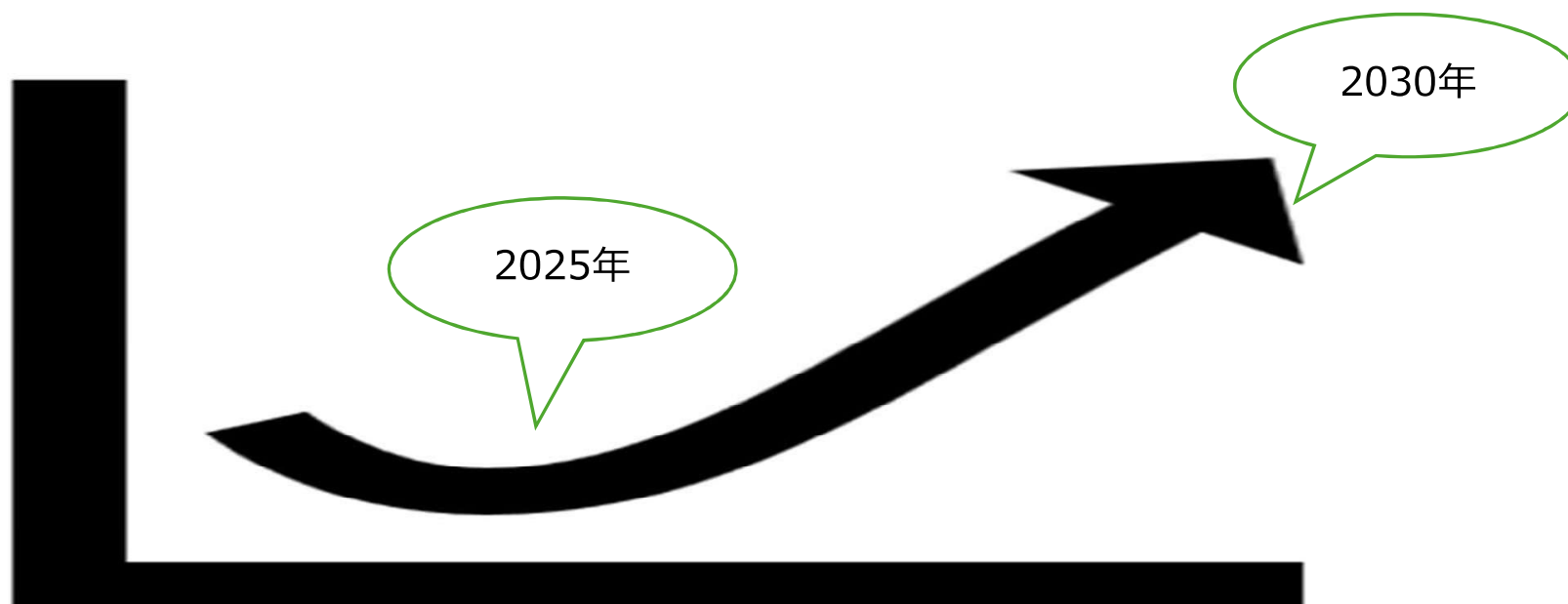
- **人と生物の共存に向けた消費行動**
- **持続可能な資源利用の普及啓発**
- **生物多様性社会の実現に向けた人材育成**

②学生主体の標準化教育

標準化教材開発



ネイチャーポジティブとは？



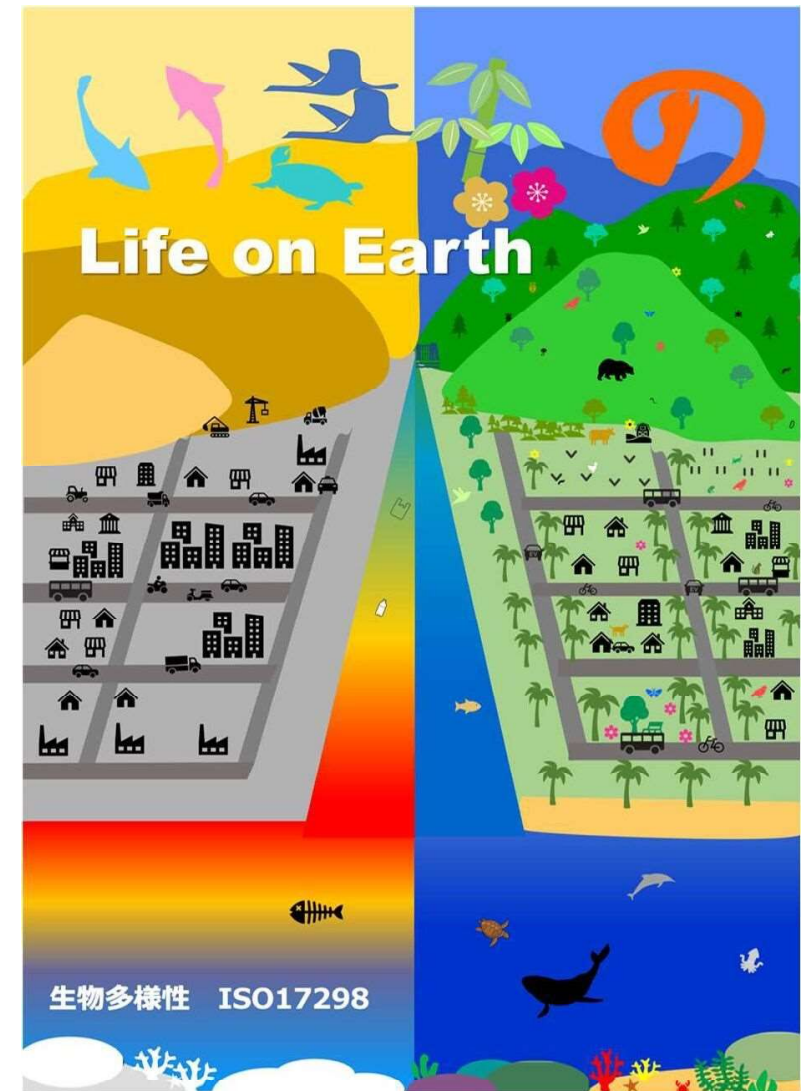
2025年までに損失を止めて2030年までに回復させるといったものです。

いきもの~Life on Earth~

- テーマ
生物多様性、ネイチャーポジティブ
- 対象標準化規格
ISO17298
- 目的
一般消費者や中小企業の方に
生物多様性やネイチャーポジティブ
について学ぶ

+

経営戦略の立案



エシカル消費の関係性



消費者が生態系や生物多様性に配慮した商品選択をどのように行うかを教材を通じて考えることができる。

<p>1 生物多様性</p> <p>生物多様性：様々な生物たちの豊かな個性とつながり合いのこと</p> <p>生態系：生物がすみ環境のごとで人々の生活にも恵みを提供しています</p> <p>例：砂浜、サンゴ礁、湿地、熱帯雨林、北方林、草原、都市公園、耕作地。</p> <p>生物多様性に関する重要な課題はどれですか、説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生物多様性の保全 2. 持続可能な資源利用 3. 遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分 	<p>気候変動と生物多様性</p> <p>気候変動適応：実際のまたは予想される気候への適応プロセスとその影響</p> <p>気候変動が生物多様性に与える影響を最小化するためには何をするかを、説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気候変動の緩和や適応 2. 防災や減災対策を行い、レジリエンスを高める 3. その他 <p>規格番号:ISO14090 気候変動適応 委員会:ISO/TC207/SC7</p>	<p>海洋生分解性プラスチック</p> <p>生分解性：生物学的活性、特に酵素作用によって引き起こされる劣化で、物質の化学構造に大きな変化をもたらす。</p> <p>マイクロプラスチック問題を解決するために何ができますか、説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラスチックを使用しない 2. 生分解性プラスチックを利用する 3. その他 <p>規格番号:ISO 22403 海洋生分解性プラスチック 委員会:ISO/TC 61/ SC 14</p>	<p>ネイチャーポジティブ</p> <p>ネイチャーポジティブ：損失を止めて回復させていくことを目指す取り組み</p> <p>投資しますか 自社で生物多様性を回復させていく上でどの政策を行いますか、説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 循環経済の確立 2. 脱炭素の実現 3. 自然保護 4. その他 <p>規格番号: --- 委員会: ---</p>	<p>エコデザイン</p> <p>エコデザイン：製品のライフサイクルを通じて環境への悪影響の削減を目的として設計及び開発において環境側面を考慮するアプローチ</p> <p>投資しますか エコデザインを作る際自社で何に重視して作りますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境負荷の少ない材料を 2. 流通経路におけるエネルギー量を最低限に 3. その他 <p>規格番号:ISO14006 数字は半角:ISO/TC207</p>
<p>認証制度</p> <p>認証制度 認証機関が監督する適合性認証を実施するための手順及び管理システム</p> <p>投資しますか 認証を受けることでどのようなメリットをもたらしますか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 製品や企業の価値信頼性が向上する 2. 競争力強化 3. その他 <p>規格番号: ISO10303 委員会: ISO/TC184</p>	<p>PR効果</p> <p>認証マークの所得により 自社のPR効果が上がった。</p> <p>生物ポイント+3</p> <p>商品</p> <p>※認証制度</p>	<p>よい素材を使った製品</p> <p>環境に良い素材を使い製品を開発したことにより企業イメージが向上した</p> <p>生物ポイント+4</p> <p>食べ物 魚の認証マーク オーガニック</p> <p>※エコデザイン</p>	<p>ネイチャーポジティブ</p> <p>生物多様性の損失が発生してしまいネガティブな状態になってしまった</p> <p>生物ポイント-8</p> <p>※ネイチャーポジティブ</p>	<p>負荷の大きい製品開発</p> <p>製品開発の際に環境への影響が大きい製品を製造してしまった</p> <p>生物ポイント-4</p> <p>製品</p> <p>※エコデザイン</p>

など

②学生主体の標準化教育

企業や団体、教育機関との
連携事業



今年連携した産業、団体

産官民連携



自治体



教育機関



産官民連携



公益社団法人
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会



標準化で、世界をつなげる。
日本規格協会グループ SINCE 1945

- ・ 8月末に専門家に開発した教材のコメント + 情報交換



ゲームの説明

いきもの Life on Earth

生物多様性 (ISO17298)
ネイチャーポジティブ経済への移行するか考える

農業・製造・漁業・行政・薬剤師

持続的な開発に貢献
異業種間の組織との連携
生物多様性の視点
イノベーション
SDGs スマート技術



対象年齢：小学生低学年以上

用途：企業の研修



標準化教室



作成した教材を用いた標準化教室



実際に教材を用いて消費者目線の戦略を考えてもらった。

中大連携



学校法人中部大学

中部大学春日丘中学校

[中高一貫教育]

10日 約20時間
参加者数:35名

テーマ:生物多様性

大学生が授業
+ 支援



中学生が文化祭で
発表



高大連携



× いちむら

テーマ:生物多様性と倫理

11月18日 3年生30名

倫理の時間

生物多様性と倫理

前半
生物多様性に関する
座学



後半
「熊の駆除の可否」
「先進国と発展途上国の
大統領としての戦略立案」
をテーマとした
グループワーク



成果

専門家連携 15名

名古屋消費生活フェア 735名

エコプロ2024 13259名

中大連携 35名

高大連携 30名

合計

15869名

**③標準のたねさがし
(NACCS中部、名古屋市との連携授業)**



★NACSとは・・・



公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・

コンサルタント・相談員協会

(Nippon Association of Consumer Specialists)

1988年6月に通商産業省(現経済産業省)の設立認可を受けて設立。

2011年に公益社団法人化。

会員数 約2,000名 全国 7支部にて活動

活動の3つの柱

★消費者トラブルの解決

★消費者教育・啓発活動

★企業・行政・消費者団体等との連携

★NACS中部支部の活動の一環として・・・

これからも、中部大学様といろいろな活動で連携し、交流を深めて参ります。



★NACSホームページ

<https://nacs.or.jp/>

★NACS中部支部ホームページ

<https://nacs.or.jp/chuubu/>

※消費生活アドバイザー資格

(内閣総理大臣及び経済産業大臣の認定資格)

★消費者と企業や行政の架け橋として、消費者からの提案や意見を企業経営ならびに行政等への提言に効果的に反映させるとともに、消費者の苦情相談等に対して迅速かつ適切なアドバイスが実施できる人材を養成することを目的としている。

NACS中部支部・名古屋市との連携授業



テーマ:SDGs・消費者視点から標準化を考えよう

2024年度

【NACS標準化セミナーin中部大学】

『経営環境』カリキュラムの2コマ
を活用し3者連携セミナーを開催！

受講者:127名 (29グループに

ねらい:標準化と消費者の関係について理解を深め、
消費者視点による『標準化のたね』をつくる



前半:12月11日

- ★標準化・SDGs・エシカル消費等に関する座学
- ★グループワークにて『標準化のたね探し』
- ★講師:NACS・名古屋市

後半:12月18日

- ★グループ発表会
- ★グループワークにてまとめた『標準化のたね』を各グループ別に代表者が発表
- ★講師・受講者全員で評価



④現状の課題、今後の方向性



現状の課題

- エシカル消費の認知や理解がまだ
広まってない
- 標準化教室で学んだことをどう次世代に
継承していくか
- イベントや連携授業に参加していない人
に対してどう行動を促すか

今後の方向性

- 新しい標準を使った教材を用いた
エシカル消費の認知度・理解度の向上
- 学んだことを次の教えるにつなげる
ことができるような取り組み
- 行動を促すことができるような
広報や宣伝活動

ご清聴ありがとうございました



伊藤佳世研究室



教材ダウンロードはこちらから



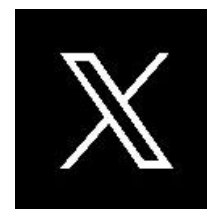
Instagram



中部大学ESDエコマネー
チーム
Instagram



中部大学ESDエコマネーチーム
フェイスブック



中部大学ESDエコマネー
チームX (旧Twitter)



各大学の取り組み発表

⑧ 名古屋学院大学



名古屋学院大学ボランティアクラブの 目指すエシカル消費

食品ロス削減 & SDG s につながる 「衣生活」

名古屋学院大学
ボランティアクラブ「コットンクラブ」



①食品ロス削減につながる授業開発の取り組み

日本の食品ロスは**年間472万トン**(令和4年度)

家庭系食品ロス **236万トン** **事業系**食品ロス **236万トン**

好き嫌いや食べ残しを減らすだけでなく、
流通や加工の段階で発生している食品ロスに気付くことのできる授業を開発し小学校で実践

- (1) **規格外野菜**を使った料理を提供している食堂の写真から、興味をもてるようにする。
- (2) 規格外野菜と正規品を比較し、簡単なクイズを取り入れる。
- (3) 自分たちの住む地域にも規格外の物を使っているショップがあることを紹介する。



規格外野菜は、形が悪い、大きさが揃っていないという理由で廃棄されてしまうが、味は変わらない

取り組みの結果

授業前アンケート

自宅で食べ物が残らないようにしている工夫は？

- ①残したら次の日も食べる（5人）
- ②消費期限・賞味期限が早い物から食べる（6人）
- ③冷凍保存して食べきる（3人）



授業後アンケート

これからの食事で気を付けようと感じた事は？

- ①規格外野菜や果物を積極的に取り入れていきたい（8人）**
- ②嫌いな物でも工夫をして食べる（7人）
- ③給食で苦手な物が出てもしっかり食べて食べる（4人）

②SDGsにつながる「衣生活」実現のための取り組み

「衣生活」を取り巻く、「入り口」と「出口」の課題

製造・輸送段階で・・・農薬の多様や輸送による環境汚染

➡ キャンパス敷地でのオーガニックコットンの栽培

廃棄の問題・・・・・・・・可燃ごみまたは不燃ごみとして68%が廃棄

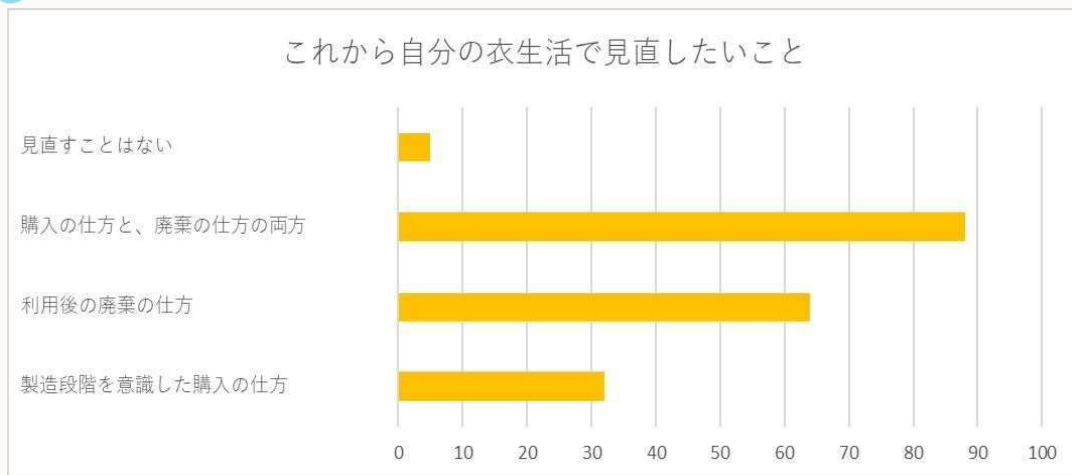
➡ 古着リサイクル率90%を実現した福島県いわき市での研修とボランティア

エシカルフェアでの活動

- (1) キャンパスで栽培したオーガニックコットンを使ったマスコットづくり体験
- (2) 掲示物やチラシを使った啓発
- (3) 意識調査のためのアンケートの実施



取り組みの結果



・購入の仕方
無理に買わない、必要か考えて買う・・・50人

・廃棄の仕方
リサイクルする、リサイクルボックスを利用する・・・69人

コットンについての気付き

- ・コットンについて知らないことがよく分かった。
- ・コットンを栽培する際に多くの水が使われることや、化学肥料がたくさん使われていて環境、土や健康に良くないことが分かった。

衣服の廃棄の仕方についての気付き

- ・リユース、リサイクルされる量が少なくて驚いた。
- ・洋服を使い捨てしているのので今後気を付けていきたいと思った。

感想と今後の展開



「食」や「衣」をめぐる多くの問題の解決方法として・・・
一人ひとりができることに気付いてもらえるような啓発活動をもっと工夫していきたい。
社会の仕組みを変えていく力につながるような消費行動について、追及していきたい。



こどもスポーツ教育学科の特性を生かし、幼稚園・小学校で可能な「食」に関する授業開発やプログラムの開発を進める。
キャンパスでのオーガニックコットン栽培を継続し、先進地での事例を参考にしながらSDGsにつながる「衣生活」についてエシカルフェアで発信をしていく。